



台風19号被災地支援活動 台風19号で甚大な被害を受けた地域の子供たちに積み木を寄贈

株式会社プロントコーポレーション(本社 東京都港区)は、全国の「カフェ&パー プロント」で実施している「プロント・ラブ・グリーン」キャンペーンとして、毎月発売しているメニューの売上の一部とレジ前募金箱募金を、国内の緑化活動に寄付するとともに、2016年1月から次世代の子供たちに環境学習の糧を渡す一環として「公益財団法人 日本環境協会 こどもエコクラブ」様と支援協定を締結しています。

2019年10月に甚大な被害に襲われた、台風19号では多くの自治体で浸水や停電などの被害が出ました。避難所で不安な夜を過ごした人も大勢いたと思います、また怖い思いをした子どもたちに元気に遊んでもらおうと、こどもエコクラブと共に被災した自治体、茨城県大子町と千葉県柏市のクラブ紙芝居で木の役割や間伐の大切さについてお話した後、寄贈した積み木で早速遊んでもらいました。

2018年の豪雨で被害に遭った大阪・河内長野の間伐材であるスギとヒノキを使ったこの積み木、ふたを開けると木のよい香りが漂います。子どもたちはまず手に取って色や木目を確かめたり、匂いをかいでみたりしてから、たくさん並べてドミノ倒しに挑戦していました、塔のように高く積む子や、拍子木のように打ち鳴らして遊ぶ子も、シンプルな形だから、アイデア次第でいろいろな遊び方ができます。

今後55か所のクラブに対して100個の寄贈をしていきます。

今後も社員一丸となって積極的に支援活動を続けて参ります。



寄贈の様子

